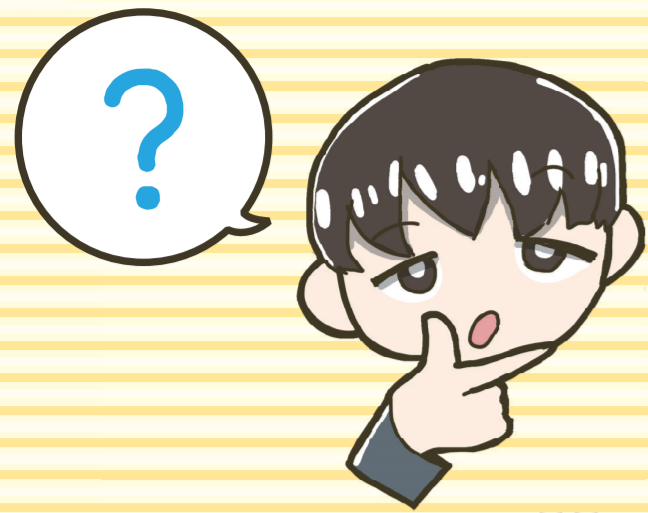


はじめまして、献血

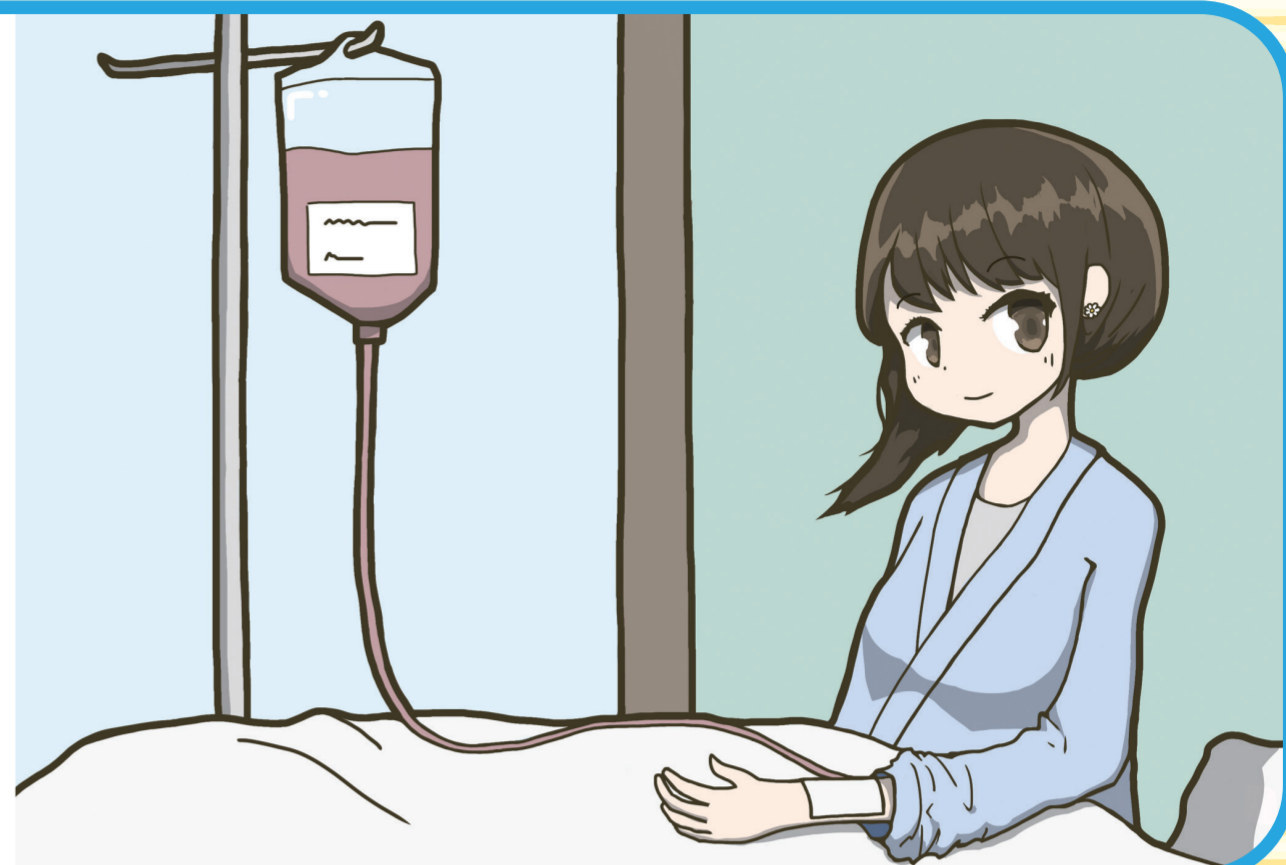


「献血」は、自分からすすんで血液を提供するボランティアです。
聞いたことはあるけれど、よくわからない「献血」。ちょっと詳しくなってみませんか？

? 献血した血液は何に使われているの？

献血した血液は病気やけがの治療に必要な「血液製剤」という薬となって、患者さんの命を救います。

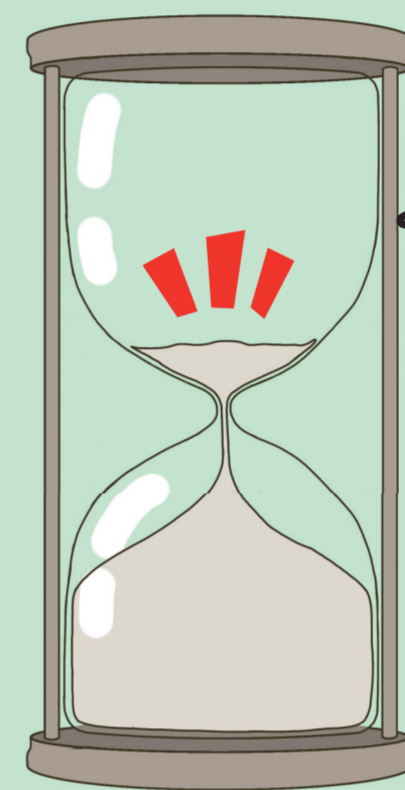
80%以上が、がんなどの病気の治療に使われています



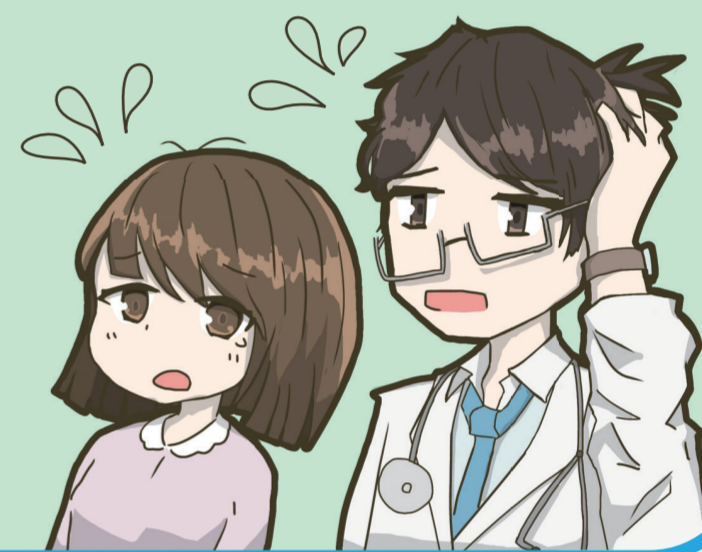
? どうして献血が必要なの？

輸血を必要とする人は、1日平均で約3000人。しかし、血液は人工的に造ったり、長期保存ができないため、多くの人の献血が必要です。

一番使われる輸血用の血液製剤は21日しかもちません



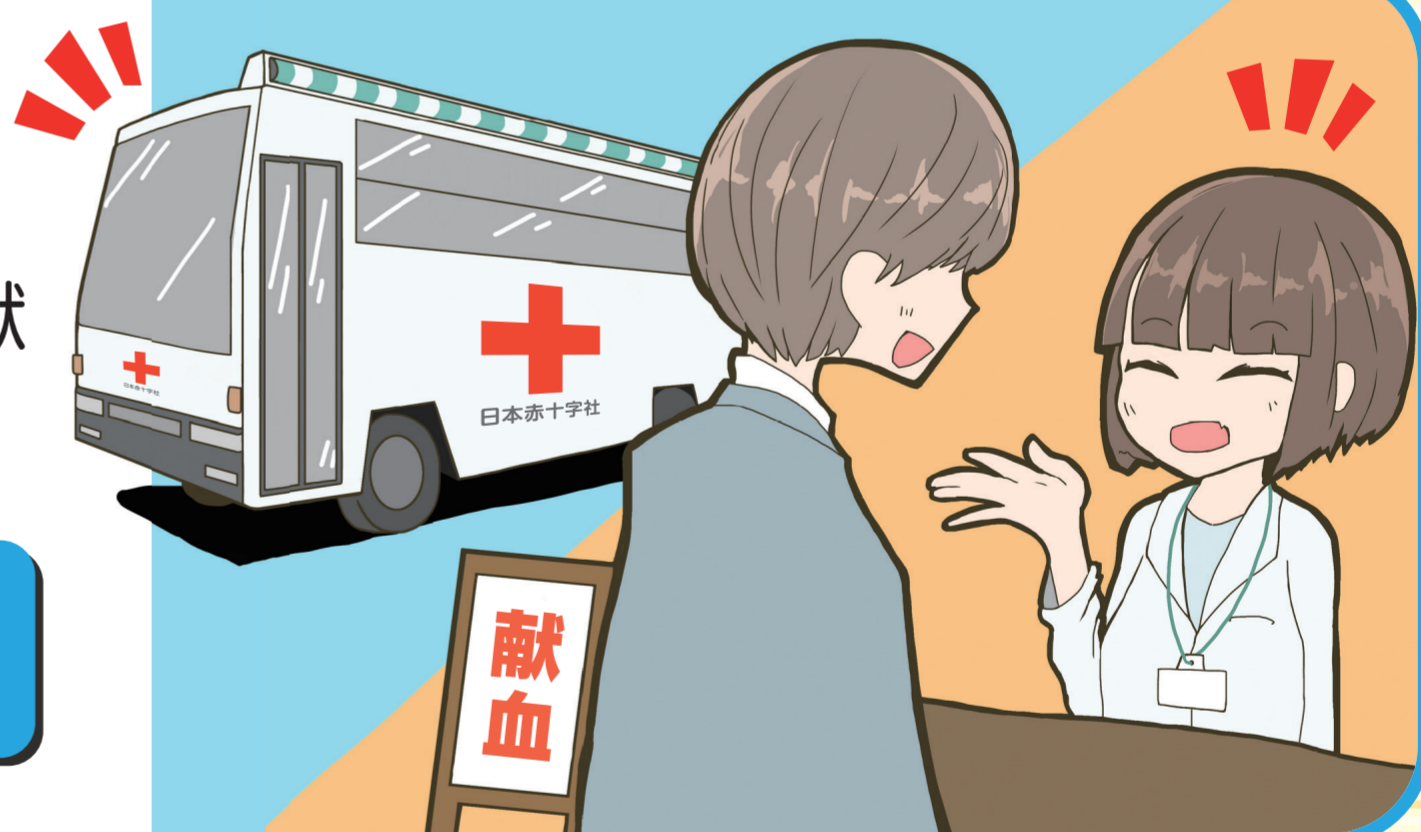
21days



? どうやったら献血できるの？

献血は男女ともに16歳から、全国の献血ルームや献血バスでおこなうことができます。

200mL献血は16歳からすることができます



献血は、病気やけがで苦しむ患者さんを助ける、大切な命綱です。

**16歳になったら、ほんの少し勇気を出して、
献血に足を運んでみてください！**

「献血」とは、病気やけがの治療で輸血や血漿分画製剤^{けっしょう}を必要とする患者さんのために、自分から進んで血液を提供するボランティアです。献血にはいくつか種類があり、それぞれ献血できる年齢が決まっています。



血液は、医療技術が進歩した今でも人工的に造ることができず、長期保存もできないため、一年間を通して継続的な献血へのご協力をお願いします。



血漿分画製剤とは、血液中の血漿と呼ばれる液体からつくられる「くすり」です。やけどや感染症、血友病などの病気の治療に使われています。



少子化により献血可能人口が減少している中、特に10代~30代の献血者が減少しています。これからは患者さんに血液をお届けするためには若いみなさんの献血へのご協力が必要不可欠です。



献血についての詳しい情報は日本赤十字社のホームページをご覧ください。

日本赤十字社 献血 検索



【献血ができる年齢】

| | 200ml献血 | 400ml献血 | 成分献血 |
|---|---------|---------|-------|
| 男 | 16歳から | 17歳から | 18歳から |
| 女 | | 18歳から | |